

| 科目名 | 公共 | | 1 学年・必修 | 使用教科書 | 『公共』東京書籍 | |
|----------|--|------------------------|---|---|---|----------------|
| | | | 単位数：2 単位 | 使用副教材 | 『公共 ワークノート』東京書籍 | |
| 学習目標 | <p>「人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」（学習指導要領より引用）</p> <p>①疑問点を解消するべく積極的に学習し、授業を通して課題解決能力を養う。 ②講義に対して熱心に向き合うことで、積極的に学習し獲得した知識を確実に定着させる。 ③政治的思想や宗教など、世界における様々な分野の知識を獲得し、差別や偏見なく世界を見渡す視野の広さを身に付ける。</p> | | | | | |
| 学習方法 | <ul style="list-style-type: none"> 講義形式の授業とグループワークでの作業を併用して授業を展開します。プリントを配布して授業を進めるので、ファイルを用意してください。 世界情勢や国内での事件、出来事によって、時事的な内容を授業で扱うことがあります。日頃からTVやネットニュース等を見て情報収集に努めましょう。 考查は原則漢字での回答を求めます。漢字が苦手な方は、自宅等で何度も書き取りをして練習しましょう。 | | | | | |
| 学習評価 | 評価の観点 | | 評価の観点の概要 | | | |
| | I | 知識・技能 | 講義の内容を理解し、知識として定着させている。身に付けた知識を活用し、公民的事象に関する疑問へ自分なりの仮説を立てることができる。 | | | |
| | II | 思考・判断・表現 | 講義の内容をまとめた確認問題に対し、自分で思考し判断した答えを導き出す。創意工夫しながら自分の意見を表現することができる。 | | | |
| 他教科との関連性 | 該当する単元（教材） | | 関連する教科・科目 | | | |
| | 第二部第二章 法の働きと私たち | | 数学 A | 消費者トラブルとして扱われやすいトラブルの事例や詐欺の例を取り上げ、必要十分条件や待遇といった観点から契約内容の真偽を試行し、なぜ消費者の利益にならないのかを論理的に検証できる思考力を養う。 | | |
| 学期 | 月 | 単元名（教材） | 配当時間 | 学習内容 | 評価方法と学習のポイント | Okushirety 5.0 |
| 前期 | 4 | 第一部第一章 社会の中の自己 | 4 | 青年期における精神的発達の特徴や青年期における課題と向き合い、課題解決を試みる。 | 1 現代社会に生きる青年（講義に向かう姿勢と確認問題） 2 社会的な関係の中で生きる人間（講義に向かう姿勢と確認問題） | 学びに向かう姿勢 |
| | 5 | 第一部第二章 共に生きるための倫理 | 6 | 様々な視点で状況を判断するための方法を学び、主観的な視点と客観的な視点の両方を認める。 | 1 生命倫理に関する課題（グループワークの参加態度） 2 功利主義・義務論（グループワークの参加態度） 3 先哲の思想・宗教（講義に向かう姿勢と確認問題） | コミュニケーション能力 |
| | 6 | 第一部第三章 私たちの民主的な社会 | 8 | 人間の行動規範を理解し、よりよい社会の在り方を考察して提案することができるようになる。 | 1 社会の中のジレンマ（講義に向かう姿勢と確認問題） 2 民主主義・立憲主義（講義に向かう姿勢と確認問題） 3 日本国憲法（講義に向かう姿勢と確認問題） 4 基本的人権（仮説の設定と検証） | 学びに向かう姿勢 |
| | 7 / 8 | 第二部第一章 民主政治と私たち | 8 | 私たちを取り巻く社会の基礎となる仕組みについて、模擬演習を通して体感しながら学ぶ。 | 1 民主政治の仕組み（講義に向かう姿勢と確認問題） 2 国会・内閣の仕組み（講義に向かう姿勢と確認問題） 3 世界の政治の仕組み（グループワークの参加態度） | 課題解決能力 |
| | 9 | 第二部第二章 法の働きと私たち | 10 | 私たちの行動規範となる法の成立過程と運用について理解する。 | 1 法や規範の意義と役割（グループワークの参加態度） 2 市民生活と私法（仮説の設定と検証） 3 国民の司法参加（グループワークの参加態度） | 思考・判断・表現力 |
| 後期 | 10 / 11 | 第二部第三章 経済社会で生きる私たち | 14 | 現代の経済の仕組みを理解し、私たちの生活にどうかかわっているかを説明することができるようになる。 | 1 現代の経済と市場（グループワークの参加態度） 2 市場経済における金融の動き（グループワークの参加態度） 3 財政の役割と持続可能な社会保障制度（仮説の設定と検証） | 課題解決能力 |
| | 11 / 12 | 第二部第四章 私たちの職業生活 | 6 | 働くことの意義を理解し、将来のキャリア教育に繋がる職業観を形成する。 | 1 働くことの意義と職業選択（仮説の設定と検証） 2 労働者の権利と雇用・労働問題（講義に向かう姿勢と確認問題） | ひらめき力 |
| | 12 / 1 / 2 | 第二部第五章 国際社会の中で生きる私たち | 14 | 国際社会の一員として当事者意識をもち、広い視野で世界を見渡す意識を形成する。 | 1 国際社会のルールと仕組み（講義に向かう姿勢と確認問題） 2 国際社会と平和主義（講義に向かう姿勢と確認問題） 3 国際平和への課題（グループワークの参加態度） 4 グローバル化する国際経済（グループワークの参加態度） | 思考・判断・表現力 |
| | 3 | 第三部 持続可能な社会づくりに参画するために | 6 | 獲得した知識・技能を基に、現代社会における課題に気づき、仲間と協働しながら解決策を発見する。 | グループワークによる作業・発表会（発表内容の精度、振り返り） | 思考・判断・表現力 |